



## 「5つの力」

学校長 小邑 政明

なりました。

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。保護者の皆様、立派に成長されたお子様の晴れ姿に接し感無量のこととお察しします。ここまで育てられたご苦労に敬意を表し改めて心よりお祝い申し上げます。

入学式にあたり生徒の皆さんと保護者の皆様に私の期待とお願いを述べさせていただきます。

本校は、110年の歴史を持つ伝統校であり今日県下屈指の進学校となり、多くの先輩達が輝かしい実績を上げています。しかし、その歴史は平易ではなく苦難の連続でありました。それぞれの時代で学校の生徒や教職員全員が一丸となって常に「これでいいのか」と自問自答を繰り返しながら誠心誠意努力してきた結果であります。

よって、鶯谷中学・高等学校は成長し進化を続ける学校であり、その強大なエネルギーをあびて本日からの学校生活が始まるということをまず念頭においてください。

最初に、生徒の皆さんへの期待を述べます。

今日、世界や我が国に目を向ければ、政治、経済、外交など多くの分野で大きな課題を抱えており、先行きが不透明で閉塞感が強まっています。しかし一方では、IPS細胞など夢のある研究が進められ、世界を舞台に活躍している日本人が多数います。このような時代だからこそ、各分野に、高い見識や豊かな心に加え、強い指導力を持つスーパーリーダーが必要となっております。皆さんには将来そのスーパーリーダーになってほしいと思います。

そのためには5つの力が重要だと思います。知力、説得力、自己制御能力、継続力、耐久力です。これらは、本校における授業において友達や先生とのコミュニケーション等の中で培っていくこと

ができます。また、これからの本校での生活は楽しいことばかりとは限りません。辛いことや苦しいこともあると思いますが、5つの力を身に付け高めるチャンスだと考えてプラス思考で自ら前へ進み、実りある学校生活を送るために、平安時代の僧侶である源信の和歌を贈ります。「おほぞらの雨はわきてもそそがねど うるふ草木はおのがさまさま」。雨は差別をして注ぐわけではありませんが、それを受ける草木の生長はそれぞれ異なるという意味です。皆さんの心がけや行動が夢をかなえる鍵となります。

次に、保護者の皆様へのお願いを述べたいと思います。

これからは、お子様にとって心や身体の成育期であり、進路希望をかなえ、将来立派な社会人となるための大切な時間です。

成長にあった距離感をもって見守っていただければと思います。

お子様の成長を木が大きくなっていくことに例えてお話をします。「困難」の「困」、つまり「困る」という漢字があります。木が四角形の枠に囲まれて成長できなくて「こまる」という意味が語源だそうです。しかし、何も規制の枠がなくて伸び放題の大木になってしまっても困ります。成長を適度に囲うことは難しい課題です。

しかし、心配はいりません。今日からは、私達鶯谷中学・高等学校の全職員が保護者の皆様と一緒にしてお子様を支援させていただきます。生徒の皆さん一人一人が卒業の時に立派な木となり花を咲かせることができるよう、水となり光となりましょう。

最後になりましたが、生徒の皆さん、保護者の皆様、本校教職員の皆さん、「戦国大名毛利元就の三本の矢」の例えのよう、三者が一丸となって生徒の皆さんの夢を叶え、併せて鶯谷中学・高等学校の新たな歴史をつくっていただくことをお願いしてご挨拶とします。